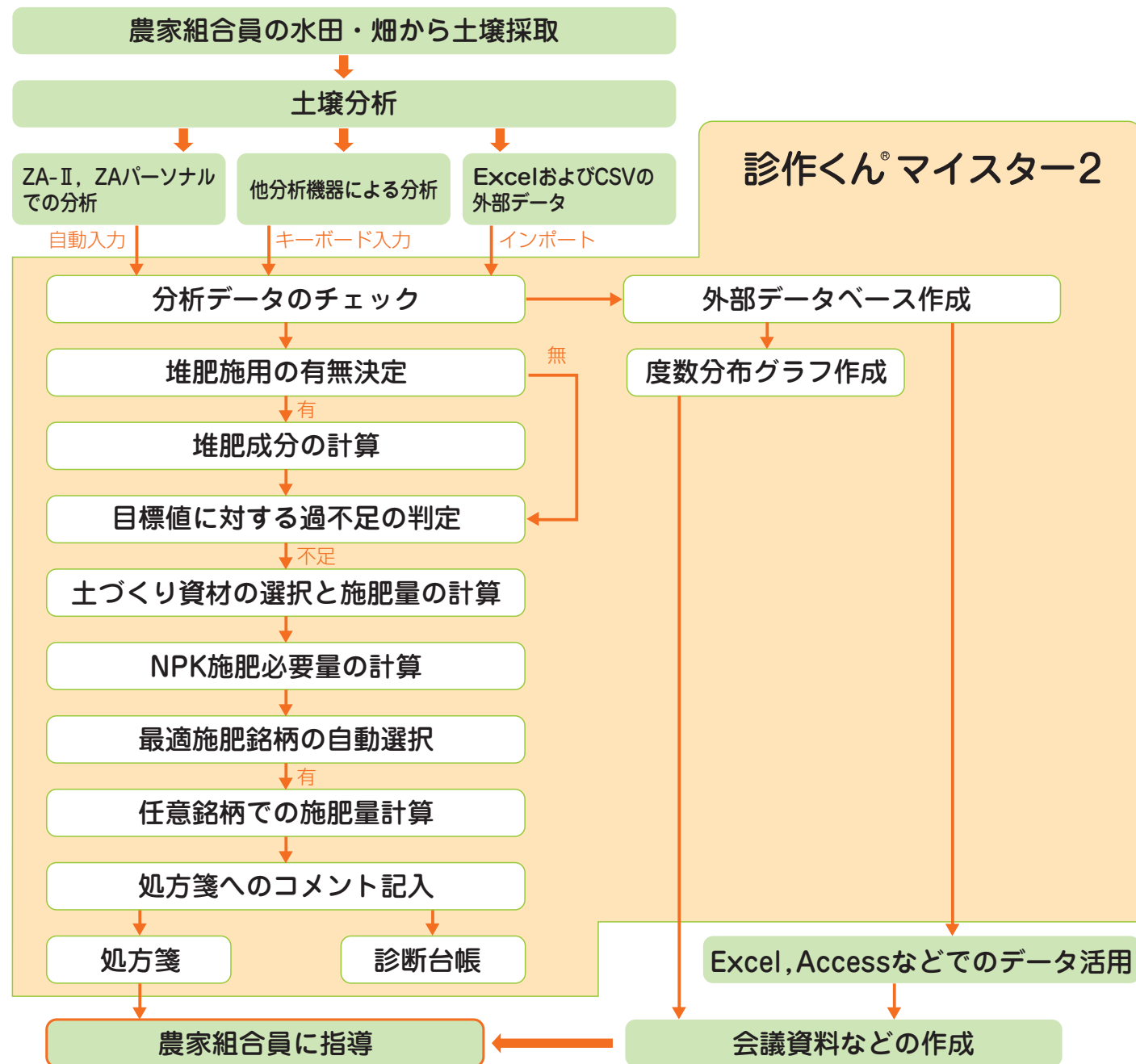


土壌診断処方箋作成までのフローチャート



●必要なシステム

対応OS	32ビット版: Windows XP/SP3, Windows Vista/SP2 Windows 7/SP1 64ビット版: Windows 7/SP1
CPU	PentiumまたはCeleron 1GHz以上
メモリー	Windows XP 256MB (推奨512MB) Windows Vista 1GB (推奨2GB, 別途グラフィックメモリが必要ですが、それはパソコンによります) Windows 7 2GB (推奨4GB)
HDD	200MB 程度の空き容量
ディスプレイ	1024×768の解像度に自動対応 (カラーは16ビット色以上)
プリンター	レーザープリンターまたはインクジェットプリンター

- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Pentium、Celeronは米国Intel Corporationの登録商標、および商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。
- 本製品の仕様およびパッケージ内容は、改良のため予定なく変更することがありますので、ご了承ください。

【ご注意】

- ① Z A-IIなどの土壌分析器は付属していません。
- ② 本製品はCD-ROM版のみで、データ送受信のための接続ケーブルは含まれておりません。
- ③ Windows98/Meには対応していません。

土壌診断で持続性が高く環境に配慮した農業生産を支援する

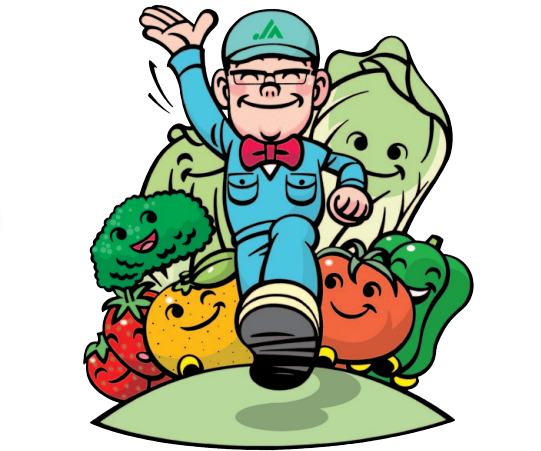
土壌診断／施肥診断 処方箋作成システム

診作くん®マイスター2



全農 JA全農肥料農薬部

診作くん[®] マイスター2
の特長



「診作くん[®]マイスター2」は、従来の「診作くん[®]マイスター」の土壌診断、施肥診断の機能に加え、土づくり肥料および基肥肥料の価格を登録すると、施肥コストがいくら掛かるかを計算することができます。また、施肥来歴を自動で作成するので、特定の生産者がこれまでどういう肥料を選択してきたか、その施肥傾向を知ることができます。処方箋も見やすくなり、さらに分析値を表示するかどうか選択することができます。

土壌診断に基づく健康な土づくりを支援する最新型処方箋システム
「診作くん[®]マイスター2」をぜひご活用ください。



JAF全農
肥料研究室

診 作くんマイスター 2

データ入力

分析データ入力

施肥来歴

生産者台帳・圃場特性入力

分析異常値チェックリスト印刷

処方箋

処方箋作成

自動データベース作成・連続印刷

分析診断台帳一覧表印刷

ZA-II データ受信

外部データ出入力

統計データ作成

終 了

マスター管理

土壌・土性施用倍率マスター

りん酸施用倍率マスター

改良目標値マスター

基本施肥基準マスター

作物マスター

一般肥料マスター

土づくり肥料マスター

計算定数マスター

総合所見マスター

分析項目設定マスター

環境設定マスター

品名マスター

JA本支所マスター

JA全農
肥料研究室

処方箋作成				(F1)	前面画 (F2)	(F3)	登録 (F4)	マスタ参照 (F5)	土づくり計算 (F6)	一般設計計算 (F7)	グラフ表示 (F8)	印刷 (F9)	プリンター (F10)	(F11)	メニュー (F12)
分析データ				登録年月日 2012/10/04											
年度	2013	分析No-JAコード-支所コード-氏名-圃場No-19No		000003-0000000014-0000000001-JA○○											
氏名	JA○○	圃場No.	地区名	0	本店付近	採土場所	採土位置	土壌	土性	作物	野稈1	耕地面積(a)	容積比量	作土深(cm)	15.0
分析結果と改良目値				土づくり処方箋印刷 土づくり+一般肥料処方箋印刷 ☒ 分析値あり ☐ 分析値なし											
項目	単位	分析値	目値	想定改良値	前分析値	土づくり肥料と施肥量 一般肥料の選択と施肥量									
グラフ設定 ☒ レイアウト ☐ 横棒グラフ						総合所見印刷 ☒ する ☐ しない									
作成年月日印刷 ☒ する ☐ しない						作成年月日指定 2012年 2月									
記数する ☒ 記数する ☐ 記数しない						処方箋作成日 2013年 10月									
け		6.00	7.00	6.93	5.50										
EC	mS/cm	0.80	1.00	0.70	0.70										
りん酸吸収係数		1400			2600										
有効態りん酸	mg/100g	20	40	40	20										
CEC	me/100g	14.0			14.0										
交換性石灰	mg/100g	180	306	306	200										
交換性苦土	mg/100g	10	45	60	10										
交換性加里	mg/100g	16	39	40	20										
塩基飽和度	%	51.9	100.0	105.5	57.6										
石灰苦土比	%	12.9	4.8	3.6	14.3										
苦土加里比	%	15	2.7	3.6	1.2										
有効態けい酸	mg/100g	10		10	20										
遊離酸化鉄	%	0.0	0.0	0.0	0.0										
腐植	%	0.0	0.0	0.0	0.0										
フッ素貯留空率	mg/100g	0.0	0.0	0.0	0.0										
硝酸貯留空率	mg/100g	0.0	0.0	0.0	0.0										
マンガン	mg/100g	0.00	1.00												
水素素	mg/100g	0.0	4.0												
合計金額(土づくり肥料+一般肥料) 土づくり肥料 一般肥料 ● 予約価格 ● 当面価格 ● 特別価格 49,046 6,666 55,712 (価格円)															
＜堆肥施用の有無＞ ☒ する (堆肥から持ち込める成分で上限値を超える場合は施用量を0kgに変更) ☐ する (堆肥から持ち込める成分で上限値を超える場合は上限値を超えない施用量を計算) ☐ する (堆肥は規定量を用いて計算) ☒ 施用しない															
規定施用量 計算結果															
堆肥 10a 当たり (Kg) 1000															
● 施用しない 圃場当たり (Kg) 2000															
＜所見＞ ● 基礎の窒素施肥量は分析値と地方空素等を考慮して計算しています ● 水素素が不足しています。 ● マンガンが不足しています。															

【処方箋作成画面】

[illegible]

【処方箋作成画面】

施肥コストの計算

肥料の価格を登録すると、土づくり肥料や基肥化成肥料に掛かる肥料代の合計値を計算することができます。価格は予約価格、当用価格、特別価格から選択できます。

見やすい処方箋

処方箋が見やすくなりました。また、分析値を表示する処方箋としない処方箋の2種類から選択できるようになりました。

全農 サンプル

様

土壌診断処方箋

JA全農
肥料研究室

2014年02月17日

生産者No: 00000001

圃場情報

年度	2014	分析No	000001	JJA名	***	発着所	***
圃場地	本郷	土壌	本郷	作期1	栽培面積(a)	容積比量	作土深(cm)
01	浅色低地土	酸性土	砂質土	水田1	10	1.0	10
圃場名	本郷土場	圃土場所	圃土位置				
		田村					

分析結果・改良目標値

項目	判定	程度	想定改良値	圃場分析値
pH	やや低い		6.61	
有効リン酸	低い		20	
交換性石灰	低い		420	
交換性土	適正		70	
交換性加里	適正		3.0	
石灰当量比	適正		3.7	
有効リン酸	低い		140	
交換性石灰	—		—	
炭酸	—		—	
アルカリ当量	—		—	
陽イオン交換	—		—	
マンガン	—		—	
セシウム	—		—	

※程度: 目標値の50%以下 (黄色) | 目標値の50%~80% (緑) | 目標値の80%~120% (青)
 ※程度: 目標値の120%以上 (赤)

項目	単位	分析値	想定改良値	圃場分析値
EC	mS/cm	0.10	1.00	
15cm根取収分量				
C/N	me/100g	25.0	20.0	
塩基飽和率	%	50.0	88.0	

お勧めの施肥設計(土づくり肥料)

<土づくり肥料名と施用量>

地肥名	伊. 春んぼ肥	施肥量(10a当たり)	0kg	(圃場当り)	0kg
肥料名	石灰類 よりりん	苦灰(1t)よりりん	苦土 灰マゾ	加里	塩化加里
kg (圃場当り)	80	382	0	0	0
単位×数量	2,500 × 3	500 × 20	500 × 0	1,500 × 0	0
金額	7,500	10,000	0	0	0
合計					17,500

お勧めの施肥設計(一般肥料)

<一般肥料名と施用量>

肥料名	硫酸銨肥料 化成10号	硫酸銨肥料(粒)	硫酸銨肥料(粒)
kg (圃場当り)	80		
単位×数量	2,500 × 4		
金額	10,000		
合計			10,000

合計 27,500

参考食品

○本肥を100kgに施用すると目標土壌値を超える成分が有るため施用量を0kgとして計算しました。
 ○基礎の窒素施肥量は地力要素等を考慮して計算しています。

指導者氏

地下水が深く還元性悪い

【印刷された土壌診断処方箋の例】

Windows 7に対応

プルダウンメニューを多用しており、選択で入力が可能です。また、コピー＆ペースト（貼り付け）の機能が付いているので、入力作業が簡単になりました。

標準施肥量と分析結果から基肥施肥量を計算

施肥暦などの標準施肥量をもとにして、土壌中の窒素、リン酸加里の分析結果や投入する堆肥の量から、基肥の窒素、リン酸、加里量を計算し最適な肥料銘柄を選択してくれます。また、基肥はキュウリ専用肥料のような特定の肥料を選ぶことができます。

施肥来歴の作成

処方箋を作成し、登録すると施肥来歴が自動的に作成されます。